



祝子川で水辺に生息する生き物を探す子どもたち

# 生き物いっぱい発見 延岡の小学生水辺調査

祝子川

延岡市の小学生と国交直延岡河川国境事務所による水生生物調査は7月29日、同市の祝子川であった。南小、延岡、東小の3校から4、6年生8人が参加。水辺にすむ生き物の種類や数を調べ、身近

な川の美しさを体感した。調査ポイントは築港橋下の翠子川中流。子どもたちは初めに、網で川の水をすくった。石をひっくり返したりしながらカニやエビ、数種類の虫を採集した。次にバレットに

種類別に分け、それぞれの数を確認。計6種類のうち体長1センチほどの虫「ナガシトビク」が「一番多かったこと」から、水生生物による水質判定で最高評価の「きれいな水」という結果を出した。

南小5年の黒木穂菜さん(10)は「初めて見る虫やかわいい生き物を見つけると嬉し

まれて楽しかった」と喜んでいた。

同事務所は毎年、子どもたち川に親しんでもらう目的で、県北4地域で地域児童らと水生生物調査を実施。今回は同市のNPO法人「五ヶ瀬川流域ネットワーク」主催の「バレット」を合わせて開催した。